

# キャンプファイヤー

## 1 活動のねらい

燃え上がる炎を囲み、神秘的な炎を見つめながら活動を振り返ったり、自分の生活を振り返ったりすることで、互いの心を開放しあい友情を深めます。

## 2 育てたい能力

A4 交友・協調

A7 適応行動

B3 まじめ勤勉

※Aは心理的・社会的能力 Bは徳育的能力 Cは身体的能力 詳細は別紙参照

## 3 活動場所

- ・冒険広場（上部・下部）
- ・見晴らし広場
- ・キャンプ場営火場
- ・すりばち広場
- ・星空広場



## 4 活動時期

〈キャンプファイヤー〉4月～11月

## 5 所要時間

1.5～2時間

## 6 指導形態

団体の引率者が指導者となって行う活動

## 7 準備物

〈キャンプファイヤー〉

【団体・個人で準備するもの】

- ・マッチ（チャッカマン）
- ・トーチ
- ・活動に適した服装
- ・衣装（火の神、火の精）
- ・出し物に必要なもの（スタンツ）
- ・キャンプファイヤーセット（食堂売店で購入可）

標準：9,400円  
 ハーフ：4,900円

（丸太30、薪2束、灯油2L）

（丸太16、薪1束、灯油1L）


【自然の家で貸し出しできるもの】

- ・電源ドラム
- ・CDラジカセ 等
- ・アンプセット（マイク、テープ使用可）

## 8 活動の手順

### 実施例

#### 第1部：火を迎えるつどい 15分～20分

① 入場・整列	
・班ごとに入場し所定の位置につきます。 ・火床を囲み、起立して静かに待ちます。 ・聖火係はトーチを持って出発点で待ちます。（営火長も一緒に）	
② 開会	
・司会者が開会の言葉を言います。	
③ 火を迎える歌・聖火入場	
・「遠き山に日は落ちて」を全員で歌いながら火を迎えます。 （1番は歌詞で、2番からはハミングで、ハミングになったら聖火入場。聖火係は聖火を営火長にわたし、営火長の隣に位置します。）	
④ 営火長の言葉	
・火に関する話や活動の振り返った話を取り入れます。	
⑤ 点火	
・点火係は営火長の前に整列します。 ・営火長は「友情の火」「健康の火」等の言葉とともに火を授けます。 ・点火係は、営火長の言葉を受けて一人ずつ誓いの言葉を言います。	
⑥ 歌	
・炎が燃え上がったなら「もえろよもえろ」を歌います。	

#### 第2部：親睦のつどい 45分～55分

それぞれ練習・用意してきた出し物（スタンツ）を披露します。

全員でできるダンスやゲーム、歌等も入れます。

※明るく楽しい雰囲気になるようにしましょう。

制限時間を決めてだらだらとならないように配慮しましょう。



#### 第3部：火を送るつどい 10分～15分

① 歌	
・「今日の日さようなら」「一日の終わり」等静かな歌を歌います。	
② 営火長の言葉	
・まとめとなる話をします。	
③ 感想発表	
・発表者は営火長の前に出て感想や反省、抱負等を話します。	
④ 火を送る歌	
・終わりの歌にふさわしいものを歌う。 （「今日の日さようなら」等）	
⑤ 聖火退場	
・司会者が閉会の言葉を言います。 ・諸連絡をし、後始末に入ります。	

### 後片づけ

- 火床の残り火は完全に消してください。
- 翌朝の清掃時に火床の始末をしてください。
- 灯油入れは、野外炊事材料受け取り場所の中にあるボックスに返却してください。
- 終了後、必ず事務室にご報告ください。



野外炊事材料受け取り場所入って右側にあります。

## 9 留意点

- キャンプファイヤーには、定形がありません。プログラムの流れをふまえて、ねらいに沿った活動を考えてください。
- 薪は水に濡らしていない、火をつけていない、灯油をかけていない状態であれば返品が可能です。
- 火気が残っている場合は、その場を離れないでください。
- 4～5月栗原市西部に林野火災警報が発令された場合、法令に基づき中止または活動内容を変更いただく場合があります。予めご了承ください。

## 10 参考 \*トーチの作り方\*

### 1. トーチの材料

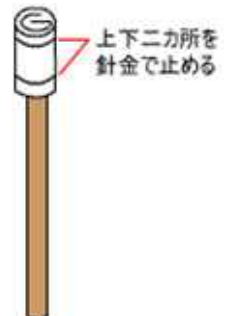
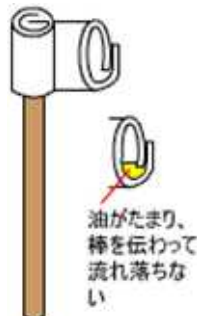
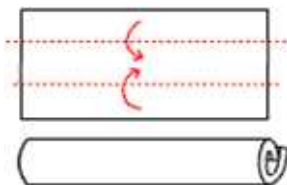
- 木の棒……直径3～4cm、長さ1～1.2m(竹でもよいが、枯れたものは不可。節は抜いておく)
- 布……木綿(化繊は不可)。タオル1/2～1枚
- 針金……50cm位のもの(H22位)2本。

### 2. トーチの作り方

タオルを内側に包むように三つ折りにします。

三つ折りにした外側の端が上にくるようにしてタオルを棒に巻いていきます。

上と下2カ所を外れないように針金でしっかり止めます。



### 3. 灯油のつけかた

直前に灯油を浸すと流れ落ちることがあるので、事前に浸します。布の部分の1/3～1/2位浸し、布を下にして立て掛けておくと全体にしみ渡ります。灯油が多すぎようだったら、新聞紙で軽く絞ります。